

# 令和元年度(2019年度) 函館市地域包括支援センター 活動計画について

函館市保健福祉部  
地域包括ケア推進課

## 活動評価および活動計画作成の目的

PDCAサイクルを繰り返すことにより、事業の改善を繰り返し、事業の質の向上を図る。



## 活動評価および活動計画の様式

平成30年度のセンター活動を評価し、  
その評価に基づき  
令和元年度の活動計画を作成している。

事業内容	平成30年度活動評価		令和元年度活動計画		
	実績	評価	事業目標	計画	評価指標
	活動評価および活動計画は、 以下「活動計画」と称す				

## 活動計画作成の流れ

- 1 センターが活動計画の第1稿を作成し、市へ提出
- 2 地域包括ケア推進課担当内で第1稿を確認し、  
センターへのヒアリング事項等を整理
- 3 各センターへヒアリングを実施
- 4 必要時センターが加筆および修正し、完成版を市へ提出

## 令和元年度 函館市地域包括支援センターの業務

### ① 包括的支援事業

- ア 地域包括支援センターの運営
  - (ア) 総合相談支援業務
  - (イ) 権利擁護業務
  - (ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
  - (エ) 地域ケア会議推進事業
- イ 生活支援体制整備事業
  - (ア) 第2層生活支援コーディネーター業務

### ② 介護予防・日常生活支援総合事業

- ア 一般介護予防事業
  - (ア) 地域介護予防活動支援事業

### ③ 任意事業

- ア 住宅改修支援事業

## 令和元年度 函館市地域包括支援センター運営方針

地域で生活する人々が高齢者を見守るとともに、  
誰かが異変に気付いたら相談できる地域づくりを行う。

地域包括支援センターの周知と対応力の底上げ

地域で高齢者を支える関係機関との連携

地域住民に対する認知症の正しい理解と  
地域の見守りについての普及啓発の強化

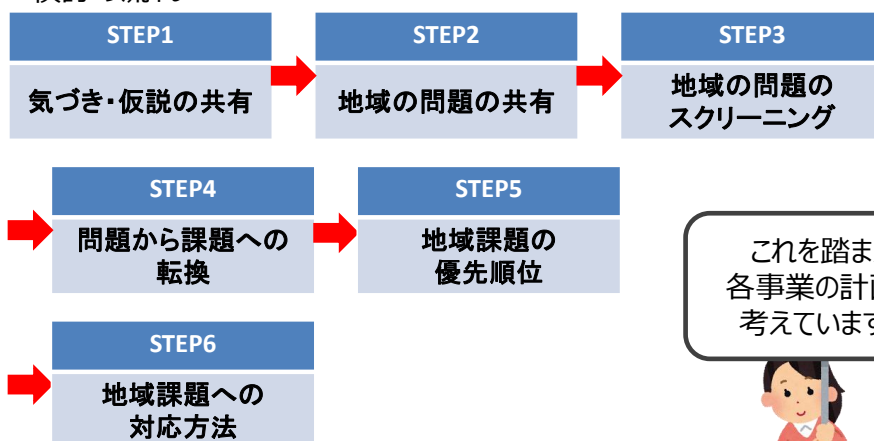
住民主体の活動の場の拡充による地域づくり

これを踏まえ  
各事業の計画を  
考えています。



## 日常生活圏域レベルの地域課題の検討

- ・ 圏域の地域課題を明らかにするため、各センターで実施する。
- ・ 検討の流れ



これを踏まえ  
各事業の計画を  
考えています。



## 東中部第2圏域：たかおか

地域の問題	健康管理の知識や健康意識の低さにより問題が起きた時に、適切に対処することが難しい。
問題が生じている要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要産業が漁業や自営業であり、仕事が優先される生活環境となっている。</li> <li>・ 仕事が優先され、自分の健康管理などが後回しになってしまう風潮がある。</li> <li>・ 医療機関がない。</li> <li>・ 健康管理などについて学ぶ機会がない。</li> <li>・ 誤った知識が伝達されることもある。</li> </ul>
地域課題	健康についての知識や相談先や使える資源を知ることで問題が起きた時に相談につながる人が増える。

## 東中部第2圏域：たかおか

対応方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海沿いの地域で健康づくり教室を開催できるようアプローチする。</li> <li>・出前講座や広報紙により、健康づくりの意識や予防などについて普及啓発を行う。</li> <li>・出前講座や広報紙により、相談先であるセンター職員の顔を知ってもらい、まずは相談してもらう。</li> </ul>
------	---

活動計画への反映	<p>&lt;健康づくり教室&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防、認知症予防の講話をする。</li> <li>・減塩食試食を行い、塩分量の目安や適正カロリー等の学習機会を設定する。</li> </ul> <p>&lt;広報紙&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防に関する記事を掲載する。</li> </ul> <p>&lt;出前講座&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座実施メニューへ健康管理に関する項目を入れる。</li> </ul>
----------	--

## 東部圏域：社協

地域の問題	利用可能な公的サービスが限られており、生活に支障があり人口減少につながっているため、互助力の低下が懸念される。
-------	---

問題が生じている要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険事業者、医療機関の参入がしづらく、働く人の確保も困難。</li> <li>・市民サービスの利用や生活が不便であり、若年層に魅力ある十分な雇用もないことから生産年齢人口が流出してしまう。</li> <li>・人手不足により働く高齢者が多い。</li> <li>・地域福祉の担い手が不足。</li> <li>・経済基盤が不安定。</li> </ul>
------------	---

地域課題	住み慣れた地域で暮らし続けられるように、助け合いを次世代（60代）へ引き継いでいけるよう啓発し、意識を高める。
------	---

## 東部：社協

### 対応方法

- ・地域ケア会議を活用し、地域の現状を地域住民と共有を図り、地域でできることを模索する。

### 活動計画への反映

- 次世代の意識を高めるための啓発に取り組む。
- ・幅広い層の住民が入手できるよう、広報紙の新たな配布先の開拓を行う。
- ・地域ケア会議では、これまで抽出されたニーズをもとに、具体的に地域住民が取り組んでいけることを次世代を巻き込み検討していく。
- ・社会資源マップを活用し、ボランティアの横のつながりと新たな取り組みへの発展を狙う。

## 今後の課題

- 整理した地域課題に基づき、各事業を実施する。



- センターの各種事業を一体的に展開し、地域を動かす。



- しっかり評価（地域課題の整理）を行い、  
地域包括ケアシステムを深化・推進していくことを意識的に行う。